

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称			コード	名 称	
事業名	189.1	防災ハザードマップ作成事業		会計	01	一般会計	
基本施策	15	自然災害等への十分な備えをする		款	02	総務費	
				項	01	総務管理費	
				目	20	防災費	
担当部課名	総務部 総合危機管理課			細目	101	防災対策経費	
作成者氏名	鹿島 泰近	連絡先	22-9640	細々目	01	防災関係経費	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民、市内企業、各種団体、市役所各組織、防災関係機関(国、県、ライフライン関係企業、市民防災組織)	マップの作成により、市民及び市内外関係機関(市関係部署、国、県、ライフライン企業等)に災害危険箇所等をあらかじめ周知し、災害予防及び災害時における避難並びに救援及び救助等の対応を適切に行うことができる。
本年度事業内容	伊賀市防災マップの作成 マップ作成のための関係機関等との調整 マップ作成業務の委託	
開始年度	平成 17 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	1.0	0.4	1.5
	人件費合計(A)	7,200	2,880	10,800
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,363	0	2,000
	委託料	1,363	0	2,000
	その他			
合計(A+B)		8,563	2,880	12,800
③財源内訳(千円)	特定財源	681		1,000
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	7,882	2,880	11,800
上記①～③に関する特記事項				
緊急地震対策促進事業補助金(県単) 補助率1/2				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
伊賀市防災マップの作成部数	部	50000	0	0

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
伊賀市防災マップ在庫数	在庫数の減少が、市民等への配付が進み、防災意識の啓発に繋がる指標となる。	部	50000 目標 (0)	5000	2500
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成17年度に合併後初めての伊賀市防災マップを作成したが、引き続き国、県の指導もあり、平成19年度には「伊賀市洪水ハザードマップ」を単独又は、伊賀市防災マップの更新と合わせて作成するか費用対効果を考えながら作成方法について考える。 内容的には毎年、修正事項が発生するが概ね3年を目途に更新していく必要がある。

評価	必要性	4	伊賀市で最初の防災マップの作成であり、全戸配付、関係団体等へ配付したことで、伊賀市全体を包括した地図が各戸まで配付されたことにより、防災情報に加え、市全体の危険箇所、市域全体の再確認ができる。更に、過去に水害の歴史がある当市においては、「洪水ハザードマップ」作成に伴い委託による調査が必要である。(拡大)	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	3		
	効率性	3		